



今回のキットについてご案内



今回は、洗濯のりに含まれる成分“PVA”（ポリビニルアルコール）の性質を利用して、瓶の中でキラキラと雪が舞うスノードームづくりができるキットです。オリジナルプラバンのモチーフを入れたり、左の写真のように毛糸やリボンでデコレーションをして、自分だけのスノードームの完成です！この時期にぴったりなので、インテリアやプレゼントにもおすすめです！



おうちで用意してもらうもの

● 空きビン

100円ショップで購入できます
家庭で食べ終わった後の使った食料瓶などでもOK！
※漏れ防止の為、**スクリュキャップ**（ネジキャップ）のものにしてください



スクリュキャップ

ツイストキャップ

ぎゅっと閉められる「スクリュキャップ」の瓶を使ってください。
ジャムでおなじみ、蓋の内側にツメが出ているものがツイストキャップです。こちらは、作れないわけではないかもしれませんが、水漏れをする可能性がある点で、スノードームにはあまり適しません。

スノードームに必要なもの

● 瞬間接着剤

（グルーガンでも代用可能です）

★**取り扱いに注意してください**

ビンのフタに土台のスポンジやオーナメントを接着するときに使います



● スポンジ

・オーナメントの土台に使います
・約横2.5×縦2.5×高さ2.5



● オーナメント

水の中に入れても大丈夫なもの
家にある、人形やフィギュアなど・・・
100円ショップにモチーフとして使える消しゴムが売っています



● 水

・ビンの容量の2/3程



● トレーやボウルなど

こぼれる水の受け皿として使います



● スポイトまたはスプーン
スポンジに水をふくませるために使います



プラバンに必要なもの

※**スノードームの中にプラバンを入れたい方は準備をしましょう！**
プラバンがなくてもスノードームは作れますよ。

● プラバン

100円ショップで買えます
6cm×6cmにカットしましょう



● はさみ



● 油性ペン

プラバンにイラストを書くときに使います



● 堅い板や分厚い本など



● アルミホイル



● オープントースター

プラバンを焼くときに使います



● 紙

下絵用に使います。
6cm×6cmの四角の中に入るイラストを描きましょう



● キラキラセット

100円ショップで買えます
・いろいろなスパンコール
・雪に見立てた白い砂
・ラメ



など

● 汚れてもいいふきんやタオル
蓋を閉める時にこぼれた水を拭く用です



用意しなくてもOK!

● 毛糸や油性ペン
飾り付けに使います



「キラキラ雪のスノードーム」と「プラバン」の手順 (1)

まずはじめに・・・

スノードームの中に入れる**オリジナルプラバン**を先に作りましょう！
オーブントースターで温めた後はとても熱くなっているので、必ずおうちの人と一緒にこないましょう。やけどに十分注意してください。



プラバン編

①紙に下絵を描きます。

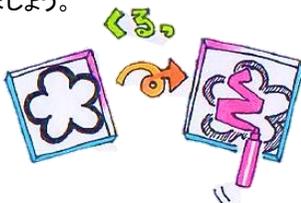
トースターで加熱すると、4分の1ほどに縮むので、それを考えながら大きめに描きましょう！



②下絵の上にプラバンを置き、油性ペンでふちどりをします。黒ペンがオススメです。



③ふちどりができたら、**プラバンを裏返し**し、油性ペンやポスカで色を塗りましょう。



濃い色ではなく、薄い色を使いましょう！

プラバンをトースターで加熱した際に縮むと色が濃くなるためです。

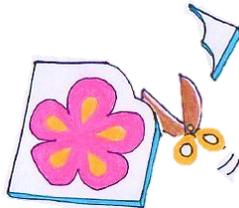
例)青色のところは水色を使うなど



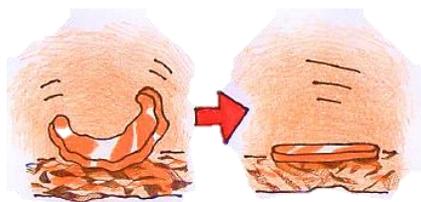
ポイント！



④ハサミで好きな形にカットしましょう。



⑤切り取ったプラバンをアルミホイルの上のせて、オーブントースターに入れて熱を加えます。しばらくすると温まったプラバンが曲がってきますが、そのまましておけば縮みながら平らになります。
※数秒で縮むので、目を離さないでください



⑥プラバンが平らになったら、すばやくアルミホイルごと取り出して、堅くて平らな板や重い本などで上から押えて、まっすぐにしたら完成！

やけどに注意しましょう。



～もしプラバンが曲がってしまったら～
もう一度焼いてみましょう。

1回焼いたものはなかなか動かないので少し長めに温めてチャレンジしてみてください。

「キラキラ雪のスノードーム」と「プラバン」の手順 (2)

スノードーム編

- ※瞬間接着剤は保護者の方が取り扱ってください
- ※瞬間接着剤が肌や身のまわりのものにつかないよう注意してください
- ※洗濯のりの誤飲に注意してください

- ① 好きなオーナメントを土台となるスポンジのかたい面(ザラザラの方)に瞬間接着剤でくっつけます。

- ※保護者の方が取り扱ってください
- ※グルーガン



- ② 次に①を瞬間接着剤でスポンジを下にしてビンのフタに接着します。

- ※接着する前に、閉めたときをイメージして土台が高い場合は、スポンジを切り、高さを調整しましょう



- ③ 空きビンの中に「手順(1)」でつくったプラバンとスパンコールをすべて入れます。お気に入りのビーズなどをプラスしても◎



- ④ ビンの中に洗濯のりをすべて入れます。だいたいのおちょうど良い割合は、水3:洗濯のり1ですが、多少違って問題ありません。



- ⑤ 水をぱんぱんに入れます。静かにそそいで、表面張力がができるくらいまで入れるのがポイント！ビンの中に空気がない方が出来上がりがきれいなためです★汚れても良いタオルやトレーなどを敷いておくと安心です。



- ⑥ スポンジの中の空気をなくすため、スポンジ全体を水でしめさせます。スポイトがあるとやりやすいですが、なければ小さめのスプーンを使いましょう。

- ※必ず、土台やオーナメントが接着され、乾いているか確認してからおこないましょう



- ⑦ ビンのフタをゆっくりそ〜っとのせて、ぎゅっとしめます。フタを閉めるときに液体があふれるので、汚れても良いタオルやトレーなどを敷いておくと安心です。



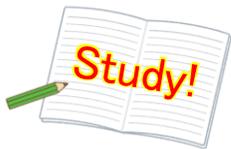
- ⑧ まわりをタオルで拭いたら、できあがり♪

もっと楽しもう！



ビンの首元に毛糸やリボンを巻いたり、ビンにイラストを描いたり・自由にデコレーションするのも楽しいよ！





スノードームのあれこれ



【スノードームのはじまり】

スノードームの原型の作品が現れたのは1878年のパリ万博です。エッフェル塔モチーフのスノードームが話題になり、それ以降スノードームは万博土産として人気になったそうです。また、1950年代のヨーロッパではプラスチックの加工技術が発達し、安く様々なデザインの製品が生産できるようになりました。それにより、富裕層だけでなく一般庶民も手に入りやすくなった事で、リーズナブルな”ご当地みやげ”としてスノードームがとても人気になりました。



【今回の材料の一つ「洗濯のり」とは】

洗濯のりには、衣類にパリッとハリを与えて、型くずれを防いでくれる役割があります。

「天然のり」と「合成のり」の2種類があり、「天然のり」は、でんぷんが主成分です。

ハリやコシが強く出るのが特徴で、天然成分が使用されているので肌に優しいです。

ただし、天然成分ですので長期保存すると虫食いや変色の恐れがあります。「合成のり」は、加工されたでんぷんやPVA、CMCなどの成分からできています。天然のりとは違い、虫食いや変色の心配がありません。

洗濯のりはどろどろしているのが特徴で、スノードームの中で時間をかけて雪が舞う様子を表現できます。



【洗濯のりに含まれる「PVA」とは】

今回使用した「合成のり」にはPVA(ポリビニルアルコール)が含まれています。ポパールとも呼ばれます。

粉末タイプ・液体タイプでよく使われる成分です。洗濯面ではシワを防ぐ効果に優れています。どんな衣類でも使いやすいです。また、水に溶けやすいという特徴を持ち、水に溶かしたものを乾燥させると薄い膜を作るのが特徴があるため、古い角質を取り除くパックやヘアスタイリング剤などに使用されます。

【洗濯のりプラス〇〇でいろいろ！】

PVAが含まれる洗濯のりには、実は他にも楽しい使い道があります♪

スライム

ホウ砂水と混ぜることで、簡単にスライムが完成します。ホウ砂には、PVA同士をつなぐ働きがあるからです。ホウ砂には多少毒性があるので、大人の方と一緒に作ってください。



スーパーボール

食塩水と混ぜると、スーパーボールができます。食塩を加えると、PVAよりも水分子をひきつける力が強い食塩が、PVAのまわりの水分子を奪ってしまうため、PVAだけが集まって取り出されるからです。

